



春日井ロータリークラブ
2014～2015 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンのフェロウシップで、 世界・地域に、何か良い事をしよう！

植物園 ニュートンのリンゴの木

会 長：加藤 久仁明 例 会 日：金曜日 12：30～13：30
副 会 長：蓮野 美廣 例 会 場：ホテルプラザ勝川
副 会 長：山田 治 事 務 局：春日井市鳥居松町5-45
幹 事：近藤 太門 T E L：(0568) 81-8498
会報委員会：長谷川 英輝 F A X：(0568) 82-0265

E-mail: ksgl-rc@gaea.ocn.ne.jp



本日のプログラム

- | | |
|---------------|----------------|
| ・点 鐘 | 和 田 了司君 |
| ・ ROTARY SONG | 加藤久仁明君 |
| ・ 今月の歌 | 「われら日本のロータリアン」 |
| ・ ビジター紹介 | 「紅葉」 |
| ・ 食事・歓談 | 加藤久仁明君 |
| ・ 委員会報告 | |
| ・ 会長挨拶 | 加藤久仁明君 |
| ・ 卓 話 | 山口 由起君 |
| ・ 幹事報告 | 近藤 太門君 |
| ・ 点 鐘 | 加藤久仁明君 |

今月の歌

紅葉
秋の夕日に 照る山紅葉
濃いも薄いも 数ある中に
松をいろいろ 楓や蔦は
山のふもとの 裾模様

先週の記録

会長挨拶 副会長 蓮野 美廣君

会長が欠席のため、会長代理挨拶をさせていただきますが、自虐ネタが底をつきましたので、専門分野の建設業の現在・・・についてお話しさせていただきます。

長きに渡ってデフレ経済が続き、極端でなければ物も安く、労働者も間に合うという環境から、東日本大災害を機に需要と供給のバランスが崩れ始め、労働者不足のまま、消費税8%の駆け込み需要・・・2020年開催の東京オリンピックやリニア新幹線の名古屋駅再開発等が複合的に絡み合い、現在は資材や労働者賃金で妙なインフレ状態を引き起こしバブル経済となっています。

職業奉仕・米山の月間

例会	10月17日(金)	10月24日(金)	11月1,2,3日	11月8日(土)
予定	祝福 ケローナ青年大使	夜間例会 18時～ ホテルプラザ勝川	10月31日(金) 変更 W F F	11月7日(金) 変更 福祉のつどい サボテン事業

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

2014年10月10日(金)2203回(10月第2例会)

優先しなければならない東日本復興事業は入札不調が続発し、やっと9月下旬の新聞報道で価格の見直しが合意されたとの事。

とは言うものの、人手不足のまま他の事業で仕事を抱えたゼネコンが、即時にこの事態を解消するとも思えません。エアコンのきいた中で、スマホのゲームに夢中の若者が、酷暑や厳冬に外仕事に従事するなんて今後も考えられません。年配の労働者が年を重ね、仕事ができなくなって来る事を考えれば、増々バランスがとれなくなるのは必至ですね。

事業主から設計事務所に、仕事の依頼があっても資材や労務費が極端に値上がりし更に中堅や大手の受注回避を恐れ、我々の中小企業にまで打診される事を思えば、事業主の立場からすれば、大変危険な環境となるのではないのでしょうか。対策になるかどうか分かりませんが、過去に取引のあった業者や、普段の付き合いを重んじ“人情”で解決するのも一手です。

いずれにしても、需要と供給のバランスが崩れている事は事実で、この先建設業を営む者にとっても、職人不足は大きな問題となります。以上、会長代理挨拶でした

幹事報告 幹事 近藤 太門君

岡嶋良樹君、古屋義夫君、お二人とも卓話をありがとうございました。

※地区より10月のロータリーレートは、1\$ = 106円との連絡がありました。

※「春日井市明るい社会づくりの会」より平成26年度「実践体験文」の表彰式並びに発表会と云う事で、蓮野副会長に出席要請がきています。

E-mail：ksgl-rc@gaea.ocn.ne.jp

日時は 26 年 10 月 25 日 (土) 時間は 12 時 30 分からです。場所は福祉センター二階です。

※「春日井市姉妹都市市民の会」からケローナ親善大使の挨拶会に出席せよとの連絡があり、加藤会長と加藤宗生国際委員長に出席をお願いします。

日時は 10 月 19 日 (日) 午後 5 時 30 分から場所はここプラザの二階「さくら」です。

※クラブからお願いがあります。17日にケローナから青年大使が例会に来ますが、その時の通訳を山田倫章君にお世話をかけますが、お願いしたいと思います。

次週予告 次週 10 月 10 日は「第 4 回理事役員会」を行います。理事役員の皆様よろしくお願ひします。例会はストレッチの先生の松田有美さんの卓話を聞きます。

◎例会変更の案内

犬 山 RC	10月21日(火) 10月21日(火) 事業所参観の為犬山カンツリー
豊 田 東 RC	10月15日(水) 10月15日(水) 職場例会の为豊田信用金庫本店
名 古 屋 守 山 RC	10月22日(水) 10月22日(水) 夜間例会の为マリオットアソシアホテル
名 古 屋 東 RC	10月20日(月) 10月21日(火) 18:00 夜間例会の为 八勝館
岩 倉 RC	10月21日(火) 10月18日(土) 蕎麦例会の为 十五や
名 古 屋 清 須 RC	10月21日(火) 10月21日(火) 職場例会の为
名 古 屋 名 北 RC	10月22日(水) 10月21日(火) 合同例会の为 名古屋ガーデンパレス
名古屋アイリス RC	10月22日(水) 10月22日(水) 夜間例会の为 未定
名古屋丸の内 RC	10月23日(木) 10月23日(木) 家族会の为 歌舞伎鑑賞

出席報告 委員長 伊藤 純君

会員 58 名	欠席 19 名	出席率 67%
先々週の修正出席	欠席 3 名	出席率 95%

ニコボックス報告 委員長 古屋 義夫君

○お二人の卓話を楽しみにしています。

近藤 太門君

○今日は卓話を楽しみにしています

宅間 秀順君

○卓話楽しみにしております。

峠 テル子君

○卓話楽しみにしております。

和田 了司君

○岡嶋、古屋両君の卓話を聞ける喜びで

貴田 永克君

○卓話楽しみにしております。 小川 長君

○卓話楽しみにしています。 長谷川英輝君

○卓話をさせていただきます。BGMのように聴き流してください。 岡嶋 良樹君

○卓話をさせていただきます。ジョークの好きな私ですが話は全て真実のことです。 古屋 義夫君

○9/末に勝川だと思いましたが80歳の自転車の老人が左折する大型トラックにひかれ死亡、市内で6人目。注意いたしましょう。

交通安全協会会長 松尾 隆徳君

○東海テレワークが本日の中日新聞で紹介されました！！ 日比 雄将君

○御岳の骨折が無事完治しました。青山 博徳君

○今日も宜しくお願ひします。

足立 治夫君 磯野 俊雄君 伊藤 一裕君

太田 弘道君 岡田 義邦君 加藤 茂君

風岡 保広君 河村 哲也君 亀谷 鉦一君

北 健司君 小島 啓治君 清水 勲君

芝田 貴之君 社本 太郎君 朽本 正樹君

名畑 豊君 成瀬 浩康君 新美 治男君

早川 八郎君 林 憲正君 速水 敬志君

蓮野 美廣君 森田 誠君 屋嘉比良夫君

山田 倫章君

○ご協力ありがとうございます。 古屋 義夫君

卓話 岡嶋 良樹君

こんにちは。今日は15分卓話の時間をいただきましたので、春日井ロータリーに入会し一年を振り返ってということでお話しさせていただきます。前年度はクラブ計画書によりますと、46回例会がありました。その中には野球観戦、夜間例会、ガバナー公式訪問、サボテンの鉢植え、地区大会、年忘れ家族会、45周年記念式典など含まれます。一年坊主の私には長いようで短い一年でした。入会のきっかけを思い返しますと、私の不在中会社「春日井ロータリーの方からあなたに電話があったよ」と母から言われまして「なんだろう?」と思っていたところ程なくして私に電話がかかってきました。日時は忘れてしまいましたが「会社に伺いますからお時間はとらせませんので」と言った内容でした。心の中でとうとうこの日が来たかと。現在、会員増強委員会に所属しておりますので段取りがよくわかります。父が亡くなってから3年、商工会議所での議員総会や食事会に出席するたび「もうそろそろロータリー」「誘われるうちに入会した方が良いよ」と言われ続け「こちらに席が空いているから」と招かれた席には毎回ロータリアンの面々、断る理由はありません。春日井では名の知れた代表の方ばかりで緊張するのかなとも思ったのですが私のような若輩者にもみなさん気さくにロータリーで「おいしい昼食を皆で食

べよう」とか「話しを聞くだけでも勉強になる」とか「一週間に一度一時間だけ」と話しかけていただき自然と緊張感も無くなっていました。

ですから入会の申込書を持ってこられたとしてもお受けするつもりでした。

電話から数日が過ぎ、前年度の会長であった名畑会長と屋嘉比エレクトが会社にやってきました。そこで世間話をしながらまたその時、春日井ロータリーが取り組んでいたセブ島のトイレ寄贈の話、あしながおじさんの話を聞かせていただきました。先輩方には怒られてしまうかもしれませんが正直、ロータリーはステータスシンボリックな感覚でありまして、活動内容が見えてこなかったのでお話を聞いて、目からうろこで日本国内だけでなく海外でも活動されているのだと、とても感銘いたしました。

今年は何か行事をしないのですか？と私の不躰な質問にも後日ニュートンのりんごの木の寄贈の話をわざわざもってきていただき、春日井ロータリー45周年記念の年だということもあり、そこからとんとん拍子で入会となったわけです。

ロータリーに入会して、例会への出席は、ロータリアンの会員義務だといわれておりましたので、100%出席を目標にしました。でも幼い子供を家に残しての泊りがけの旅行、思わぬ持病の再発（余談）がありまして目標はもろくも崩れ去りました。

まず例会は点鐘から始まり、点鐘で終わります。この点鐘ですが皆さんは当たり前のように聞いているようですが最初は不思議に感じていました。調べてみますとロータリー時間と言われロータリアンの皆さんが一業種の長としてそれぞれが忙しい方ばかりですので時間が不規則では相手の方々に大変迷惑がかかってしまう事から時間に厳しく正確に例会を進行するためということでした。時間にルーズな（だらしない）私には頭の中でいつまでも響く鐘の音です。その後のプログラムについては、ロータリーソング、各委員会の報告、食事、会長スピーチ、卓話、幹事報告などと続きます。その順序は、クラブによってさまざまだそうです。

前年度、私はニコボックス委員会と会報委員会に配属されました。ニコボックス委員会では笑顔こそが善意の表現だと知り例会前に皆さんの笑顔と共に運営費を頂戴し名前を覚えさせていただき、春日井ロータリーの新参者としては大変勉強になりました。「岡嶋君のお父さんはとかおじいさんは」とか「そろそろ慣れてきましたか」「岡本君は」「岡崎君は」など色々声を掛けていただきとても有り難かったです。また会報委員会では例会での皆さんの卓話を会報に載せる際に誤字、脱字がないようもう一度読み返す作業をするのですが皆さ

んの素晴らしい卓話を深く読み返すことで勉強まで出来てしまう特典がついてきましたとても有意義な時間を過ごさせていただきました。今年度は、会場委員会（つたない司会）、親睦委員会（委員長まかせ）、会員増強委員会（肩身が狭く小さくなっております）に所属しております。まだまだ勉強不足でそれぞれの委員長には迷惑ばかりおかけしておりますが後輩への奉仕だと思ってどうかお許し下さい。

また、例会での一番の楽しみは卓話ですので、二番目の楽しみであるおいしい食事と雑談、世間話を皆さんとすることで春日井ロータリーの一員になれたのかな？ロータリーに入会していなければこのようなすばらしい人たちと出会うことはなかったと思ったりもします。

卓話は、例会の華であります。クラブの会員が自分の職業やロータリーについて話をしたり、ロータリアン以外の人を迎えて話をしてもらったり、クラブで世話をしている米山奨学生や交換学生が話をする場合もあります。先輩ロータリアンの多種多様なお話しを聞く機会に恵まれ勉強させていただき稚拙で無知な私にとって毎回驚かされることばかりです。

前回の自己紹介の卓話で少し触れさせていただいたのですが、春日井ロータリークラブ様とは祖父の代から長いお付き合いをさせていただいております。

私も春日井ロータリークラブに入会しどのような楽しみ方をしていけばいいのだろうか？

と思うことがあります。祖父のことですから、まじめにロータリー道を歩んでいたのではと思いますし、父はロータリーが仕事のように「例会出席100%は当たり前」と言った感じでロータリー大好き人間でありましたし、それぞれロータリーを楽しんでいたと思います。私も自分なりのロータリーとの付き合い方をしていければと思っております。ご清聴有難うございました。

（余談）

私の持病とは尿路結石です。ぜいたくはしていませんがぜいたく病といわれています。詳しく調べましたら、尿の通り道である腎杯・腎盂・尿管・膀胱・尿道をまとめて尿路といいます。この尿路にできた結石が、尿路結石だそうです。尿路結石は30~60代の男性に多いそうです。結石の約90%以上はカルシウムを含むカルシウム結石で、X線検査で白い影として写ります。私の腎臓にもかたまりがいくつもありました。代表的な結石は、シュウ酸カルシウムだそうです。尿路結石は近年増加傾向にあり、日本人が生涯のうち10人に1人は結石にかかるとう報告されているそうです。

忘れもしません最初の出会いは38歳の夏でした。

まず夜中に血尿が起こりまして徐々に背中やわき腹、下腹部と重くなっていき七転八倒するほどの激しい痛みが変わっていきました。正に尿路結石の典型的症状でした。しかし、結石がずれたのかしばらくして痛みが軽くなりました。後日病院に行き先生に痛み止めと水分をしっかり取りなさいといわれ食生活を改善しないと繰り返すよと脅され帰ってきました。それでも食生活を変えることなく、症状がででは自然排石を繰り返しておりました。そのつげがとうとう41歳の夏にまわってきました。前日から血尿や鈍痛を繰り返しいつものことだと思ひかけておいたら、次の日の朝尿意をもよおしトイレへいったのですが鋭い痛みとともに尿が止まってしまいました。(病院での先生の治療) 重要なものは水分摂取と食事です。

卓話

古屋 義夫君

この世に生を受けてから現在までの私の経験でこれは皆さんと情報を共有したいと思うことをお話させていただきます。

それは UFO (Unidentified Flying Object の頭文字) 近接遭遇をしたことです。

そしてそれは18年前の夏。

長野県の赤沢というところに大人4人子供5人でモーターホームに乗ってオートキャンプに行きました。

昼間の赤沢は山の上なのに非常に賑わっていて川遊び体験やウッドクラフト教室なので賑わっていました。

しかし夜になると我々家族と友人だけになり夕食後は焚火や花火をして静かに夜の更けるのを楽しんでいました。

私たち大人は何も気がつかなかったのですが子供の1人が天を指差し何やら興奮して騒いでおりましたが冷静に考えると大人は天を見上げて暗黙に掛かったのごとく何も気がつかなくて不思議なくらいに巨大で光り輝くものが宙に浮かんで停止をしていました。

そして底面には同心円を描く2列の光るものが光りながらお互いに光り輝いていました。

もしその UFO に窓があれば宇宙人と目が合うレベルの巨大な宇宙船です。

我々人間の行動を見物していたのでしょうか？それとも我々人類を補足しようとしていたのでしょうか？

異文化交流を目論んでいたのでしょうか？

或いは地球を侵略・・・

しかし私はこう推論しています。

科学が発達している彼らならば私達を滅ぼすのは容易いはず。

だから彼らは人類を観察していたに違いないと

・・・

人類の生態系を壊さないように人類を見物していたに違いないと・・・

結構、暗示にかかって気がつかないだけで日常的に UFO を目撃しているかもなんてね。

TV の CM で缶コーヒーの宣伝をやっていますよね？

宇宙人が地球人に化けていて廻りの人間は何も気がつかないってあれですよ。

そんなこと絶対ないよって仰ると思いますが。はい確かに常識的には完全にそうですね。

だけど単なる常識では理解できないことを私たちはしっかりと目撃をいたしました。

皆さんはどのようにお考えですか？

最後にメンバーの皆様の UFO に関する体験をお持ちでしたら是非ともお聞かせください。

因みにジョークの好きな私ですが卓話でお話したこと、ここに書きました事は全て真実である事に100%間違いございませんから念のため。



副会長 蓮野 美廣君



卓話 岡嶋 良樹君



卓話 古屋 義夫君